

(エ)北海道支庁別ばれいしょ生産量の推移

	区分	作 付 面 積 (ha)								10a 当 たり 収 量 (kg)								収 穫 量 (t)							
地域	年次	29	30	令和元	2	3	4	5	6	29	30	令和元	2	3	4	5	6	29	30	令和元	2	3	4	5	6
札幌	石狩	645	666	722	694	710	730	737	706	3,670	3,280	3,670	3,600	3,380	3,580	3,580	3,600	23,700	21,900	26,500	25,000	24,000	26,100	26,400	25,400
	空知	698	677	659	629	600	615	617	595	3,250	3,110	3,490	3,460	3,090	3,980	3,750	3,650	22,700	21,100	23,000	21,800	18,500	24,500	23,100	21,700
	上川	2,710	2,620	2,590	2,400	2,330	2,380	2,350	2,320	3,540	2,850	3,430	3,490	2,720	3,640	3,490	3,860	95,900	74,700	88,800	83,700	63,300	86,600	82,000	89,700
	留萌	26	24	20	21	18	21	18	15	1,750	1,590	1,940	1,990	1,690	1,870	1,920	2,170	459	377	395	413	304	386	339	324
	小計	4,100	4,000	4,000	3,700	3,700	3,700	3,700	3,600	3,480	2,950	3,470	3,540	2,870	2,870	2,870	3,820	142,800	118,100	138,700	130,900	106,100	137,600	131,800	137,100
函館	渡島	814	745	690	650	593	547	497	517	2,990	2,660	2,940	2,950	2,790	2,700	2,870	2,860	24,400	19,800	20,300	19,200	16,500	14,700	14,200	14,800
	檜山	1,210	1,130	1,070	1,010	1,040	1,080	1,030	1,050	3,240	2,540	3,110	2,990	2,940	2,940	3,260	3,100	39,300	28,500	33,300	30,100	30,600	31,800	33,600	32,500
	後志	4,220	4,260	3,850	3,670	3,720	3,830	3,770	3,700	2,980	2,700	3,340	3,420	2,980	3,460	3,480	3,370	125,600	114,800	128,800	125,700	110,800	132,500	131,300	124,900
	胆振	547	556	505	472	483	506	546	549	2,920	2,680	3,510	3,340	3,340	3,350	3,580	3,420	16,000	14,900	17,700	15,800	16,100	17,000	19,600	18,800
	小計	6,800	6,700	6,100	5,800	5,800	6,000	5,800	5,800	3,020	2,660	3,280	3,290	3,000	2,900	3,000	3,380	205,300	178,000	200,100	190,800	174,000	196,000	198,700	191,000
広帯	日高	35	36	22	29	37	57	80	100	2,560	2,110	2,090	3,000	3,910	3,020	4,080	3,500	892	751	461	860	1,440	1,730	3,270	3,500
	十勝	22,800	22,600	22,100	21,800	21,500	22,200	22,300	22,400	3,770	3,430	3,700	3,440	3,630	3,470	3,990	3,830	860,400	775,900	818,500	750,800	780,900	771,600	889,700	858,700
	釧路	410	406	411	400	405	416	399	405	3,480	3,390	4,070	3,570	3,590	3,340	3,610	3,630	14,300	13,800	16,700	14,300	14,500	13,900	14,400	14,700
	小計	23,200	23,000	22,500	22,200	21,900	22,700	22,800	22,900	3,770	3,440	3,710	3,450	3,640	3,510	3,490	3,440	875,600	790,500	835,700	766,000	796,800	787,200	907,400	876,900
北見	宗谷	6	6	5	x	x	4	11	2	1,480	1,210	1,400	1,830	1,630	1,590	1,640	1,350	87	69	67	x	x	62	184	31
	網走	16,700	16,600	16,600	16,000	15,300	15,700	15,800	16,000	3,860	3,880	4,240	3,960	3,890	4,370	4,210	4,090	644,000	641,700	701,300	631,400	594,300	684,900	664,500	652,600
	根室	458	465	414	370	377	389	383	387	3,240	3,080	3,510	3,690	3,840	3,280	3,630	3,320	14,800	14,300	14,500	13,700	14,500	12,700	13,900	12,800
	小計	17,200	17,100	17,000	16,400	15,700	16,100	16,200	16,400	3,830	3,840	4,210	3,930	3,880	3,780	3,760	4,250	658,900	656,100	715,900	645,100	608,800	697,700	678,600	665,400
計		51,300	50,800	49,600	48,100	47,100	48,500	48,500	48,700	3,670	3,430	3,810	3,600	3,580	3,750	3,750	3,750	1,883,000	1,742,000	1,890,000	1,733,000	1,686,000	1,819,000	1,916,000	1,870,400

資料：農林水産省北海道農政事務所 食と農林水産データライブラリー＞農業＞ばれいしょ＞ばれいしょの作付面積、収穫量

「野菜の作付面積、収穫量及び出荷量」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

注：ラウンドのため、合計は一致しない。

カ ばれいしょの作柄概要

年産	作 柄 概 要
平成 1 8	○<u>作付面積</u>は8万6,600haで、前年並み。 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,040kgで、前年産を4％下回る。 ○<u>収穫量</u>は263万5,000 t で、前年産に比べ11万7,000 t （前年産対比4％）減少。 ○季節区分別の概況 <u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は8万3,600haで、前年産並み。10a 当たり収量は3,100kgで、前年産を4％下回った。これは、北海道で7月下旬から8月上旬の少雨と、8月以降の高温により生育が停滞したためである。この結果、収穫量は259万 t で、前年産に比べて12万2,000 t 減少。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,930haで、前年産に比べて40ha（同1％）増加。10a 当たり収量は1,560kgで、前年産を11％上回った。これは、長崎県等で台風第13号の強風により茎葉の損傷があったものの、その後天候に恵まれ生育が順調に推移したためである。この結果、収穫量は4万5,700 t で、前年産に比べて5,100 t （同13％）増加。
1 9	○<u>作付面積</u>は8万7,400haで、前年産に比べて800ha（1％）増加 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,290kgで、前年産に比べて8％上回った。 ○<u>収穫量</u>は287万3,000 t で、前年産に比べて23万8,000 t （9％）増加。 ○季節区分別の概況 <u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は8万4,500haで、前年産に比べて900ha（1％）増加。10a 当たり収量は3,350kgで、前年産を8％上回った。これは生育期間をとおして比較的天候に恵まれたためである。この結果、収穫量は282万8,000 t で、前年産で比べて23万6,000 t （11％）増加。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,890haで、前年産に比べて40ha（1％）減少。10a 当たり収量は1,540kgで、前年産を1％下回った。この結果、収穫量は4万4,400 t で、前年産に比べて1,300 t （3％）減少。
2 0	○<u>作付面積</u>は8万4,900haで、前年産に比べて2,500ha（3％）減少。 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,230kgで、前年産に比べて2％下回った。 ○<u>収穫量</u>は274万2,000 t で、前年産に比べて13万0,000 t （5％）減少。 ○季節区分別の概況 <u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は8万2,000haで、前年産に比べて2,500ha（3％）減少。10a 当たり収量は3,230kgで、前年産を2％下回った。これは、7月の日照不足、8月～9月の降雨不足などの影響により、いもの肥大が抑制され小玉傾向となったためである。この結果、収穫量は269万7,000 t で、前年産で比べて13万1,000 t （5％）減少。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,880haで、前年産並み。10a 当たり収量は1,600kgで、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたことから、前年産に比べて4％上回った。この結果、収穫量は4万6,100 t で、前年産に比べて1,700 t （4％）増加。
2 1	○<u>作付面積</u>は8万3,100haで、前年産に比べて1,800ha（2％）減少。 ○<u>10a 当たり収量</u>は2,960kgで、前年産に比べて8％下回った。 ○<u>収穫量</u>は245万9,000 t で、前年産に比べて28万4,000 t （10％）減少。 ○季節区分別の概況

	<u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は8万300haで、前年産に比べて1,700ha（2％）減少。10a 当たり収量は3,000kgで、前年産を9％下回った。これは、7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、いもの肥大が抑制され小玉傾向となったためである。この結果、収穫量は241万2,000 t で、前年産で比べて28万5,000 t（11％）減少。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,820haで、生産者の高齢化に伴う作付中止等があったことから、前年産に比べて50ha（2％）減少。10a 当たり収量は1,660kgで、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたことから、前年産に比べて3％上回った。この結果、収穫量は4万6,700 t で、前年産に比べて600 t（2％）減少。
2 2	○<u>作付面積</u>は8万2,500haで、前年産に比べて600ha（1％）減少。 ○<u>10a 当たり収量</u>は2,780kgで、前年産に比べて6％下回った。 ○<u>収穫量</u>は229万 t で、前年産に比べて16万9,000 t（7％）減少。 ○季節別の概況 <u>春植えばれいしょ</u>の作付面積は7万9,600haで、前年産に比べて700ha（1％）減少。10a 当たり収量は2,810kgで、前年産を6％下回った。これは、春先の低温や、7月中旬以降の高温・多雨の影響により着いも数が少なくなったことに加え、いもの肥大が抑制され小玉傾向となったためである。この結果、収穫量は223万7,000 t で、前年産で比べて17万5,000 t（7％）減少。 <u>秋植えばれいしょ</u>の作付面積は2,930haで、主産地である長崎県及び鹿児島県において他野菜からの転換等があったことから、前年産に比べて110ha（4％）増加。10a 当たり収量は1,800kgで、生育期間をとおして比較的天候に恵まれたことから、前年産に比べて8％上回った。この結果、収穫量は5万2,800 t で、前年産に比べて6,100 t（13％）増加。
2 3	○<u>作付面積</u>は8万1,000haで、前年産に比べて1,500ha（2％）減少。 ○<u>10a 当たり収量</u>は2,950kgで、前年産に比べて6％上回った。 ○<u>収穫量</u>は238万7,000 t で、前年産に比べて9万7,000 t（4％）増加。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は5万3,100haで、前年産に比べて1,000ha（2％）減少。10a 当たり収量は3,470kgで作柄の悪かった前年産を3％上回ったものの、春先の降雨や、収穫時期の台風等の影響により収穫量は54万4,300 t で、平年収量比97％となった。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万7,900haで、前年産に比べて500ha（2％）減少。10a 当たり収量は1,950kgで生育期間をとおして比較的天候に恵まれたことから、作柄の悪かった前年産に比べて3％上回り収穫量は54万4,300 t で、平年収量比97％となった。
2 4	○<u>作付面積</u>は8万1,200haで、前年産並み。 ○<u>10a 当たり収量</u>は3,080kgで、前年産に比べて4％上回った。 ○<u>収穫量</u>は250万 t で、前年産に比べて11万3,000 t（5％）増加。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は5万3,400haで、前年産並み。10a 当たり収量は3,630kgで前年産に比べて5％上回った。これは6月から7月にかけて比較的天候に恵まれ、着いも数がやや多かったこと等によるもので、収穫量は193万8,000 t で、前年産に比べて9万5,000 t（5％）増加した。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万7,900haで、前年産並み。10a 当たり収量は2,010kgで生育期間をとおして比

	較的天候に恵まれたことから、前年産に比べて３％上回り、収穫量は56万1,800 t で、平年収量比101％となった。
2 5	○<u>作付面積</u>は 7 万9,700haで、前年産に比べて1,500ha（２％）減少。 ○<u>10 a 当たり収量</u>は3,020kgで、前年産に比べて２％下回った。 ○<u>収穫量</u>は240万8,000 t で、前年産に比べて 9 万2,000 t （４％）減少。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は 5 万2,400haで、前年と比べて1,000ha減少した。一部地域で植付作業の遅れや 7 月の少雨の影響が見られたことなどから、規格内収量はやや低く、10 a 当たり収量は3,580kgで前年産に比べて 3 ％下回り、収穫量は187万6,000 t で、前年産に比べて 6 万2,000 t （３％）減少した。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万7,200haで、前年産に比べて700ha（３％）減少。 10 a 当たり収量は1,960kgで、前年産に比べて 2 ％下回った。収穫量は53万1,800 t で、前年産に比べて 3 万 t （５％）減少。
2 6	○<u>作付面積</u>は 7 万8,300haで、前年産に比べて1,400ha（２％）減少。 ○<u>10 a 当たり収量</u>は3,140kgで、前年産に比べて 4 ％上回った。 ○<u>収穫量</u>は245万6,000 t で、前年産に比べて 4 万8,000 t （２％）増加。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は 5 万1,500haで、前年と比べて900ha減少した。生育や収穫作業は平年より早く、降雨の影響により一部の地域で生育のばらつきが見られたものの、概ね順調に進んだ。10 a 当たり収量は3,720kgで前年産に比べて 4 ％上回り、収穫量は192万 t で、前年産に比べて 4 万 t （２％）増加した。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万6,800haで、前年産に比べて400ha（１％）減少。10 a 当たり収量は2,020kgで、前年産に比べて 3 ％上回った。収穫量は54万 t で、前年産に比べて1万5,000 t （２％）増加。
2 7	○<u>作付面積</u>は 7 万7,400haで、前年産に比べて900ha（１％）減少。 ○<u>10 a 当たり収量</u>は3,110kgで、前年産に比べて 1 ％下回った。 ○<u>収穫量</u>は240万6,000 t で、前年産に比べて 5 万 t （２％）増加。 ○地域別の概況 <u>北海道</u>の作付面積は 5 万1,000haで、前年と比べて500ha減少した。干ばつの影響があった一部地域を除き、全体的には生育は順調に進んだ。10 a 当たり収量は3,720kgで前年産並となり、収穫量は190万7,000 t で前年産に比べて9,000 t （0.5％）減少した。 <u>都府県産</u>の作付面積は2万6,400haで前年産に比べて400ha（１％）減少。10 a 当たり収量は1,890kgで、前年産に比べて 6 ％下回った。収穫量は50万 t で前年産に比べて 4 万 t （８％）減少。
2 8	【春植え】 ○作付面積は 7 万4,600haで、前年産並み。 ○10 a 当たり収量は2,890kgで、前年産に比べて 8 ％下回った。 これは、作付けの多い<u>北海道において</u>、6 月の日照不足による影響によりいもの肥大が進まなかったことに加えて、<u>8 月の台風に伴う大雨等により浸水・冠水等の被害が発生。</u>

	○収穫量は215万8,000 t で、前年産に比べて20万7,000 t （9 %）減少。 【秋植え】 ○作付面積は2,670haで、前年産に比べ2 %減少。 ○10 a 当たり収量は1,530kgで、前年産並み。 ○収穫量は4万800 t で、前年産に比べて1,000 t （2 %）減少。
29	【春植え】 ○作付面積は7万4,400haで、前年産並み。 ○10 a 当たり収量は3,160kgで、前年産に比べて9 %上回った。 これは、作付けの多い北海道において、概ね天候に恵まれ、台風による被害等のあった前年産を上回ったため。 ○収穫量は235万 t で、前年産に比べ19万2,000 t （9 %）増加。 【秋植え】 ○作付面積は2,640haで、前年産に比べ1 %減少。 ○10 a 当たり収量は1,520kgで、前年産に比べ1 %下回った。 ○収穫量は4万100 t で、前年産に比べ700 t （2 %）減少。
30	【春植え】 ○作付面積は7万4,000haで、前年産に比べ1 %減少。 ○10 a 当たり収量は2,990kgで、前年産に比べ5 %下回った。 これは、作付けの多い北海道において、6月以降の天候不順により、着いも数が少なく、小玉傾向となったため。 ○収穫量は221万5,000 t で、前年産に比べ14万 t （6 %）減少。 【秋植え】 ○作付面積は2,510haで、前年産に比べ5 %減少。 これは長崎県において他野菜への転換やほ場整備のため作付休止があったこと等による。 ○10 a 当たり収量は1,820kgで、前年産に比べ20 %上回った。 これは、天候に恵まれ肥大が良好であったこと等による。 ○収穫量は4万5,600 t で、前年産に比べ5,500 t （14 %）増加。
令和 元	【春植え】 ○作付面積は7万2,000haで、前年産に比べ2,000ha（3 %）減少。 これは、主に北海道において、小麦や小豆に転換されたこと等による。 ○10 a 当たり収量は3,270kgで、前年産に比べ280kg, 9 %上回った。 これは、主に北海道において、生育期間全般において天候に恵まれ、いもの肥大が良好であったためである。 ○収穫量は235万7,000 t で、前年産に比べ14万2,000 t （6 %）増加。 【秋植え】 ○作付面積は2,410haで、前年産に比べ100ha（4 %）減少。 これは、長崎県において、他野菜への転換があったこと等による。 ○10 a 当たり収量は1,730kgで、前年産に比べ90kg（5 %）下回った。

	これは、鹿児島県において、植付け後の高温の影響で生育が抑制されたためである。 ○収穫量は4万1,800 tで、前年産に比べ3,800 t（8％）増加。
2	【春植え】 ○作付面積は6万9,600haで、前年産に比べ2,400ha（3％）減少。 これは、主に北海道において、小豆やいんげんに転換されたこと等による。 ○10 a 当たり収量は3,110kgで、前年産に比べ160kg（5％）上回った。 これは主に北海道において6月後半の低温、日照不足等の影響により、着いも数が少なくなったためである。 ○収穫量は216万5,000 tで、前年産に比べ19万2,000 t（8％）減少。 【秋植え】 ○作付け面積は2,310haで、前年産にくらべ100ha（4％）減少。 これは主に生産者の高齢化による作付中止や他野菜への転換があったためである。 ○10 a 当たり収量は1,680kgで、前年産に比べ50kg（3％）下回った。 ○収穫量は38,900 tで、前年産に比べ2900 t（7％）減少。
3	【春植え】 ○作付面積は6万8,500haで、前年産に比べ1,100ha（2％）減少。 ○10 a 当たり収量は3,120kgで、前年並みとなった。 主産地の北海道においては7月は降水量が少なく、収穫が早い生食用の肥大が抑制され影響を受けた。 8月以降は降水量が確保されたため、収量は前年並みに回復した。 ○収穫量は213万9,000 tで、前年産に比べ2万6,000t（1％）減少。 【秋植え】 ○作付面積は2,400haで、前年産に比べ90ha（4％）増加した。 これは、鹿児島県において、かんしょからの転換があったためである。 ○10a当たり収量は1,510kgで、前年産に比べ170kg（10％）下回った。 これは、長崎県において、9月下旬から10月下旬にかけて高温・少雨で推移したことから、肥大が抑制されたためである。 ○収穫量は3万6,300tで、前年産に比べ2,600t（6％）減少した。
4	【春植え】 ○作付面積は6万9,100haで、前年産に比べ600ha（1％）増加。 ○10a当たり収量は3,250kgで、前年産に比べ130kg（4％）上回った。 ○収穫量は224万5,000 tで、前年産に比べ10万6,000 t（5％）増加。 主産地の北海道において、需要の高まりから作付面積が増加し、気候も平年並みに推移したことから、前年産に比べ生産量が増加した。 【秋植え】 ○作付面積は2,260haで、前年産に比べ140ha（6％）減少した。 これは、生産者の高齢化等の労力事情により作付中止や規模縮小があったためである。 ○10a当たり収量は1,690kgで、前年産に比べ180kg（12％）上回った。 これは、前年産が不作であった長崎県において、生育が順調だったこと等による。

	○収穫量は3万8,300tで、前年産に比べ2,000t（6％）増加した。
5	【春植え】 ○作付面積は6万9,000haで、前年産に比べ100ha（1％）減少。 ○10a当たり収量は3,370kgで、前年産に比べ140kg（4％）上回った。 ○収穫量は232万6,000tで、前年産に比べ8万1,000 t（4％）減少。 主産地の北海道において、植付後の好天により初期成育が確保され、それ以降も天候にも恵まれたため、着いも数が多くなり、前年を上回る収量となった。 【秋植え】 ○作付面積は2,200haで、前年産に比べ60ha（3％）減少した。 これは、生産者の高齢化や労力不足による規模縮小や他品目への転換があったことによる。 ○10 a 当たり収量は1,730kgで、前年産に比べ40kg（2％）上回った。 これは、主産地において病害虫の影響が少なく、生育が順調に推移したためである。 ○収穫量は3万8,100 t で、前年産に比べ200 t （1％）減少した。
6	【春植え】 ○作付面積は6万8,700haで、前年産に比べ300ha減少。 ○10 a 当たり収量は3,290kgで、前年産を80kg（2％）下回った。 ○収穫量は226万3,000 t、前年産に比べ6万3,000 t（3％）減少。 これは主産地の北海道において、7月の干ばつの影響等により早生品種の収量が減少したためである。 【秋植え】 ○作付面積は2,140haで、前年産に比べ60ha（3％）減少した。 これは、生産者の高齢化や労力不足による規模縮小があったことによる。 ○10 a 当たり収量は1,500kgで、前年産に比べ230kg（15％）下回った。 これは、主産地において、高温干ばつ等の影響により収量が減少したためである。 ○収穫量は3万2,100 t で、前年産に比べ6,000 t（16％）減少した。
7 概算	【春植え】 ○作付面積は6万7,000haで、前年産に比べ1,700ha（2％）減少。 ○10 a 当たり収量は3,100kgで、前年産を190kg（6％）下回った。 ○収穫量は207万4,000 t、前年産に比べ18万9,000 t（8％）減少。

資料：統計部「野菜生産出荷統計」

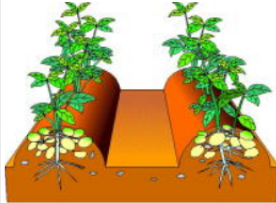
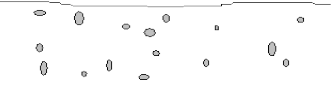
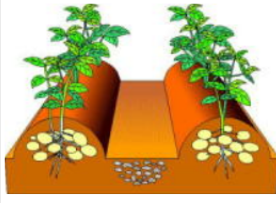
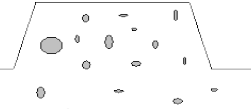
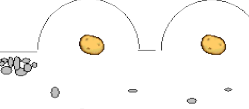
都道府県からの聞き取りによる地域作物課調べ

キ ばれいしょの機械化体系(ソイルコンディショニング栽培技術)

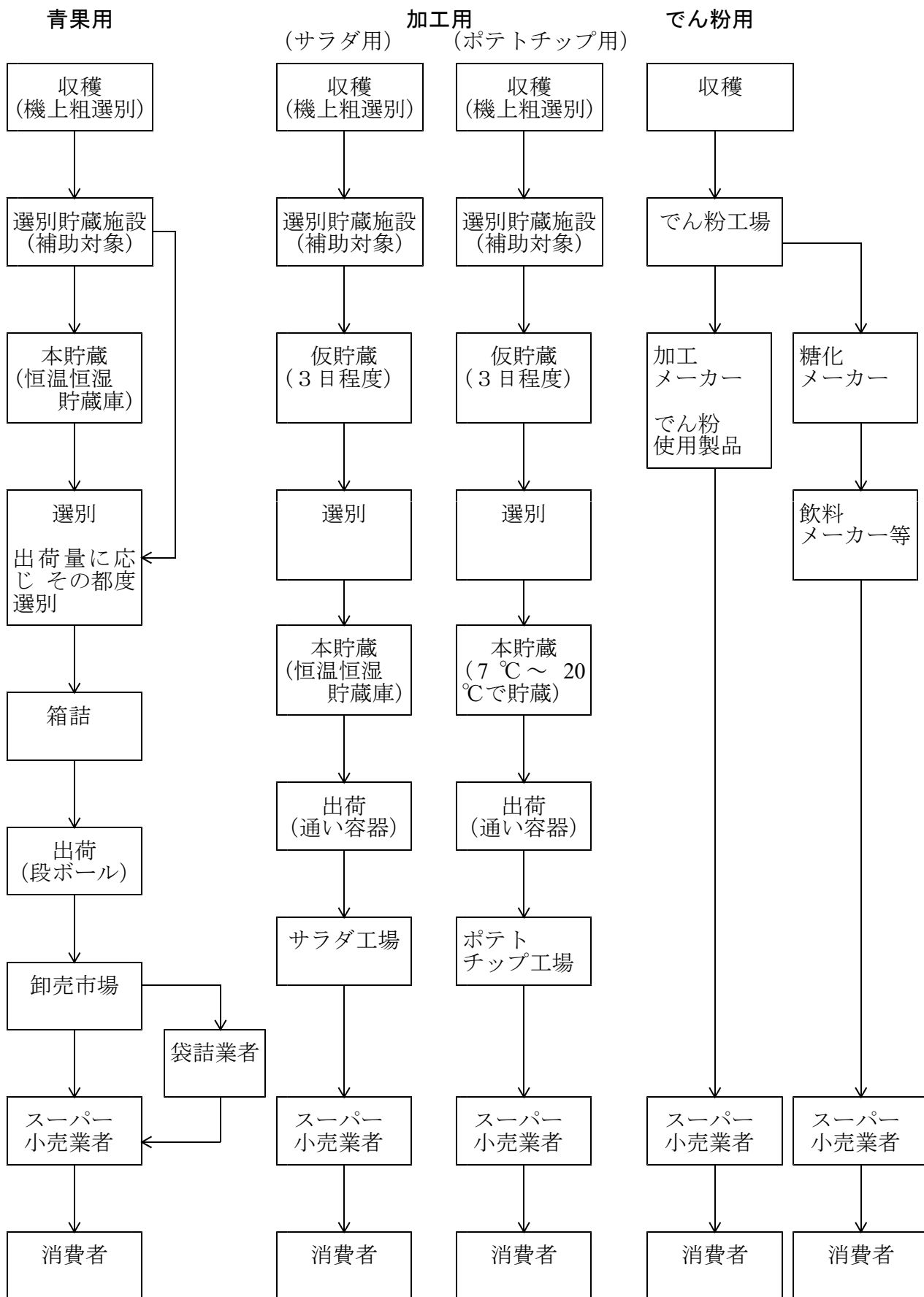
- ソイルコンディショニング栽培体系は、あらかじめ作土から土塊・石れきを取り除き、うね立てした上で播種するため、品質の向上と収穫作業の大幅な省力化が期待できる作業体系。

主な効果 ・培土をしないため、いもを傷めにくい ・いもの肥大・大きさが均一 ・いもの変形が少ない ・緑化いもが少ない

- 一方で、導入に当たってはセパレータ等高価格な作業機の販売価格の低減や日本の土壌、気象条件に合った利用体系の確立を図る必要がある。

		耕起・整地		播 種	(生育状況)	収 穫	選 別
		プラウ	ハロー	ロータリー		ハーベスタ (1 畦)	機上選別
現 行 体 系	作業 機械			プランター		 ほ場内の石や腐敗いも等が収穫物と一緒に機上に上がるため、ハーベスタ 1 台に 3～4 人の選別作業員が必要。足場が不安定なため重労働。	機上選別
	作業 の 特徴・ ほ場の 状況						
ソ イ ル コ ン デ ィ シ ョ ニ ン グ	作業 機械	ベッドフォーマ	セパレータ	プランター(深植専用)		 オフセットハーベスタ ほ場内に収穫時の打撲の原因となる石等がない上、畦を踏むリスクが軽減されるため、機上における選別作業が非常に効率的。	
	作業 の 特徴・ ほ場の 状況	 2 畦分の土を寄せ、大きな畦を形成。 	 砕土と同時に石や土塊を分離。大きな石はほ場外に廃棄、小さな石は畦間に集積。 	 播種と同時に培土も完成させる。播種深さは 15～20cm。 			
						ハーベスタ (2 畦・伴走車)	粗選別施設で効率的に選別
						 ほ場内に収穫時の打撲の原因となる石等がないため、従来の 3～4 倍の速さで収穫可能。	 作業員を集中できるため効率的。 選別作業の外部化も可能。

ク ばれいしょの流通体系



ケ 令和6年産ばれいしょ収穫量上位100市町村

	都道府県名	市町村名	作付面積	収穫量	出荷量	順位	都道府県名	市町村名	作付面積	収穫量	出荷量
			ha	t	t				ha	t	t
1	北海道	帯広市	3,590	125,500	114,200	51	北海道	共和町	228	6,680	6,200
2	北海道	芽室町	3,130	115,100	107,300	52	北海道	洞爺湖町	186	6,630	6,270
3	北海道	斜里町	2,900	112,300	107,500	53	静岡県	浜松市	251	6,290	5,620
4	北海道	網走市	2,320	97,700	93,100	54	北海道	新得町	145	6,280	4,950
5	北海道	幕別町	2,580	89,400	82,200	55	北海道	千歳市	169	6,140	2,510
6	北海道	清里町	1,910	87,800	83,600	56	北海道	剣淵町	163	5,460	4,690
7	北海道	小清水町	2,220	87,800	86,500	57	北海道	森町	165	4,950	4,510
8	北海道	更別村	2,000	86,400	82,500	58	北海道	せたな町	159	4,610	3,900
9	北海道	士幌町	2,040	85,300	77,300	59	北海道	中富良野町	109	4,440	3,790
10	北海道	大空町	1,940	83,300	73,600	60	北海道	士別市	152	4,410	3,850
11	北海道	音更町	2,200	77,300	72,200	61	北海道	名寄市	124	4,310	3,550
12	北海道	北見市	1,640	67,100	57,300	62	青森県	横浜町	113	4,260	3,960
13	北海道	中札内村	1,060	49,900	46,500	63	鹿児島県	天城町	217	3,830	3,800
14	北海道	美幌町	1,300	48,600	44,800	64	北海道	旭川市	109	3,730	3,480
15	北海道	豊頃町	898	39,100	36,600	65	北海道	黒松内町	95	3,430	1,350
16	北海道	倶知安町	1,140	38,700	32,400	66	北海道	むかわ町	99	3,260	2,920
17	北海道	鹿追町	945	35,100	31,400	67	北海道	石狩市	90	3,210	2,620
18	長崎県	雲仙市	1,330	33,100	29,700	68	北海道	遠軽町	77	3,120	2,920
19	北海道	浦幌町	766	31,700	30,500	69	北海道	長沼町	94	2,900	1,570
20	北海道	上士幌町	678	29,300	27,400	70	北海道	厚真町	90	2,800	2,390
21	北海道	美瑛町	727	28,900	24,400	71	北海道	安平町	71	2,660	2,560
22	北海道	清水町	799	28,100	25,000	72	鹿児島県	西之表市	116	2,650	2,630
23	北海道	訓子府町	697	27,100	21,400	73	北海道	江別市	73	2,640	2,270
24	北海道	本別町	682	26,300	25,400	74	北海道	蘭越町	71	2,560	2,180
25	鹿児島県	長島町	984	22,500	21,600	75	鹿児島県	南大隅町	100	2,530	2,450
26	北海道	京極町	643	22,200	19,500	76	青森県	東北町	68	2,350	2,080
27	長崎県	南島原市	856	20,700	18,500	77	熊本県	八代市	99	2,140	1,860
28	北海道	津別町	510	20,500	17,800	78	北海道	平取町	53	2,040	1,940
29	北海道	真狩村	496	17,900	15,400	79	北海道	広尾町	47	1,870	1,860
30	北海道	留寿都村	464	16,800	15,600	80	北海道	湧別町	58	1,860	1,760
31	北海道	上富良野町	377	16,000	12,700	81	北海道	岩見沢市	56	1,770	1,100
32	長崎県	諫早市	609	15,800	14,100	82	北海道	当別町	55	1,770	1,520
33	北海道	置戸町	372	15,000	12,100	83	青森県	三沢市	60	1,710	1,480
34	北海道	弟子屈町	399	14,600	13,300	84	広島県	東広島市	124	1,700	542
35	北海道	今金町	417	14,200	11,300	85	北海道	北広島市	49	1,690	1,380
36	北海道	南富良野町	309	12,800	8,540	86	北海道	伊達市	44	1,450	1,220
37	北海道	中標津町	370	12,300	9,820	87	鹿児島県	錦江町	55	1,400	1,360
38	北海道	厚沢部町	390	11,700	4,440	88	北海道	日高町	42	1,350	1,280
39	北海道	池田町	334	11,600	10,500	89	北海道	深川市	33	1,300	372
40	北海道	大樹町	301	11,300	7,290	90	北海道	豊浦町	30	1,050	966
41	鹿児島県	和泊町	587	10,700	10,200	91	北海道	上川町	28	1,030	960
42	北海道	足寄町	244	9,420	9,300	92	北海道	芦別市	29	999	232
43	鹿児島県	知名町	506	9,370	8,900	93	北海道	乙部町	45	990	902
44	北海道	恵庭市	239	8,900	7,090	94	北海道	美深町	29	869	786
45	北海道	喜茂別町	288	8,750	7,520	95	北海道	江差町	32	864	769
46	北海道	函館市	290	8,120	7,400	96	千葉県	芝山町	37	803	650
47	北海道	富良野市	173	7,110	6,470	97	北海道	壮瞥町	24	786	719
48	北海道	栗山町	185	7,070	388	98	北海道	八雲町	25	650	580
49	北海道	由仁町	170	6,900	2,510	99	長崎県	平戸市	33	621	373
50	北海道	ニセコ町	231	6,800	5,660	100	北海道	赤井川村	23	613	544

資料:農林水産省統計部「農林水産関係市町村別データ(年産)」